

近年の水害事例や、「台風発生」から「川の氾濫」までの自然現象や防災行動を学び、**児童自らが水害の時に「いつ」・「何をするのか」**を考える「マイ・タイムライン」の作成に取り組みました。

- ◆ 釧路川標茶地区では防災関係機関の事前防災計画である「水害タイムライン試行版（多機関連携）」が平成30年10月に関係機関で協定が結ばれました。
- ◆ 今回は新型コロナウイルス拡大防止に配慮しながら、「水害タイムライン試行版」の作成に携わった検討会事務局のメンバーと一緒に、標茶町立標茶小学校の6年生が、自らの防災行動を考える学習「マイ・タイムライン」づくりにチャレンジしました。

- ・実施日 令和2年11月17日（火）9時35分～11時25分
標茶町立標茶小学校（6学年42名）
- ・支援メンバー 釧路開発建設部釧路河川事務所、釧路地方气象台、標茶町役場
北見工業大学（多機関連携型タイムライン作成検討会 アドバイザー）
- ・1時間目（座学）～・災害から身を守るために役立つ情報について
- ・2時間目（グループで学習）～・マイ・タイムラインをつくろう！
- ・マイ・タイムラインとは何か
- ・とりまとめ発表



自然災害から命を守るためには幼少期からの防災教育が重要であることから、災害対応の実務を担う釧路川外減災対策協議会※では、学校教育における川の防災教育の支援を積極的に行っています。

※釧路川外減災対策協議会：水防災意識社会の再構築に向け、北海道開発局・北海道・釧路管内の市町村等からなる協議会を設置して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的・計画的に進めている協議会です。